

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	からと中央住宅2.3号棟建設工事(3階)	階数	地上6F
建設地	神戸市	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	84人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物品種	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2018年10月1日
敷地面積	4,103 m ²	作成者	株式会社山本設計
建築面積	730 m ²	確認日	
延床面積	3,204 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外の 73%
④上記+ 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 CASBEE神戸の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 1.8	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0
配慮の概要 敷地内の高低差をなくし、屋内出入口の段差は2cm以内とする。	配慮の概要 建築基準法を満たす耐震性能を確保する。	配慮の概要 周辺景観との自然な調和を意識し、住棟のボリュームやスケール感に配慮した。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される